

令和7年度厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

認知症疾患医療センターにおける抗アミロイド抗体薬治療の実施状況に関する調査研究

研究分担者 栗田主一 認知症介護研究・研修東京センター・センター長

研究要旨：認知症疾患医療センターの実績報告データを用いて、抗アミロイド抗体薬が保険収載された2023年度以降の認知症疾患医療センターの治療実施状況を分析した。抗アミロイド抗体薬による治療を実施する認知症疾患医療センターが着実に増えており、2024年の段階では全センターの5割で初期投与または継続投与を実施するに至っていた。ただし、医療機関種別の差異は顕著であり、初期投与を実施しているのは一般病院の57.5%であるのに対し、精神科病院では7.3%、診療所では4.5%となっていた。それでも、精神科病院の25.8%、診療所の40.9%が継続投与に対応しており、認知症疾患医療センターが、それぞれの医療機関の特性に応じて抗アミロイド抗体薬治療に対応できる医療提供体制の構築を進めようとしている様子を窺い知ることができた。抗アミロイド治療薬の導入によって、認知症疾患医療センターの診断後等支援業務の一つに、同治療の実施にかかるShared Decision Makingのプロセスが不可欠となっている。認知症の本人と家族に対する新たな支援のあり方を具体的な検討することが要請されている。

A. 研究目的

抗アミロイド抗体薬治療の導入による認知症医療の進展に関連した家族支援のアンケート調査を実施するにあたって、全国の認知症疾患医療センターにおける同治療薬による治療実施状況の実態を把握した。

B. 研究方法

過去に実施された認知症疾患医療センターの実績報告データを用いて、抗アミロイド抗体薬が保険収載された2023年度以降の認知症疾患医療センターの治療実施状況を分析した。

（倫理面への配慮）

本研究は、既存データの二次利用による調査であり、人を対象とする研究ではなく、個人情報も取り扱わない。よって、倫理的問題は生じない。

C. 研究結果

2023年度の段階で、認知症疾患医療センターに指定されている全国505施設のうち、自院で抗アミロイド抗体薬の初回投与を実施しているのは19.0%、継続投与のみを実施しているのは4.6%、いずれも実施していないのは73.9%であった。2024年度の段階で、認知症疾患医療センターに指定されている全国509施設のうち、自院で抗アミロイド抗体薬の初回投与を実施しているのは29.2%、継続投与のみを実施しているのは21.0%、いずれも実施していないのは49.8%であった。

2024年の段階で抗アミロイド抗体薬治療を実施している249施設（初期投与145施設、継続投与のみ104施設）を認知症疾患医療センターの類型別（表1）に見ると、初期投与については、基幹型Ⅰの93.3%、基幹型Ⅱの100%、地域型の30.4%、連携型の11.2%で実施しており、継続投与のみについては、基幹型の6.7%、地域型の20.4%、連携型の26.5%で実施していた。また、医療機関種別に見ると、初期投与

については一般病院の57.5%、精神科病院の7.3%、診療所の4.5%で実施しており、継続投与のみについては、一般病院の11.9%、精神科病院の25.8%、診療所の40.9%で実施していた。

D. 考察

抗アミロイド抗体薬治療が保険収載されてから、同薬による治療を実施する認知症疾患医療センターが着実に増えており、2024年の段階では全センターの5割で初期投与または継続投与を実施するに至っている。ただし、医療機関種別の差異は顕著であり、初期投与を実施しているのは一般病院の57.5%であるのに対し、精神科病院では7.3%、診療所の4.5%となっている。それでも、精神科病院の25.8%、診療所の40.9%が継続投与には対応しており、認知症疾患医療センターが、それぞれの医療機関の特性に応じて抗アミロイド抗体薬治療に対応できる医療提供体制の構築を進めようとしている様子を窺い知ることができた。抗アミロイド治療薬の導入によって、認知症疾患医療センターの診断後等支援業務の一つに、同治療の実施にかかるShared Decision Makingのプロセスが不可欠となっている。認知症の本人と家族に対する新たな支援のあり方について具体的な検討が必要である。

E. 結論

認知症疾患医療センターには、抗アミロイド抗体薬治療の導入による認知症医療の進展に対して、認知症の本人と家族に対する新たな支援のあり方を検討することが要請されている。

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし

表1. 認知症疾患医療センターにおける抗アミロイド抗体薬治療の実施状況：類型別比較
(2024年度分の実績評価データに基づく分析)

	類型				合計
	基幹型Ⅰ	基幹型Ⅱ	地域型	連携型	
初期投与	14	5	115	11	145
	93.3%	100.0%	30.4%	11.2%	29.2%
継続投与のみ	1	0	77	26	104
	6.7%	0.0%	20.4%	26.5%	21.0%
対応していない	0	0	186	61	247
	0.0%	0.0%	49.2%	62.2%	49.8%
合計	15	5	378	98	496
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2. 認知症疾患医療センターにおける抗アミロイド抗体薬治療の実施状況：医療機関種別比較
(2024年度分の実績評価データに基づく分析)

	医療機関種別			合計
	一般病院	精神科病院	診療所	
初期投与	126	17	2	145
	57.5%	7.3%	4.5%	29.2%
継続投与のみ	26	60	18	104
	11.9%	25.8%	40.9%	21.0%
対応していない	67	156	24	247
	30.6%	67.0%	54.5%	49.8%
合計	219	233	44	496
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%